

広島市・廿日市市における地域公共交通活性化・再生総合事業
 (広島市・廿日市市地域公共交通利用円滑化協議会)

事業期間
 20～21年度

渋滞緩和、CO2削減、広域連携等を推進する観点から、シームレスな公共交通ネットワークの構築と公共交通機関の利便性向上を図ることを目的に、電車・アストラムライン・バス・船舶・ロープウェー共通のICカードシステムを整備し、乗降・改札時間短縮による速達性や定時性の確保、乗継ぎ利便性の向上を推進。

【広島市・廿日市市地域公共交通利用円滑化協議会】

広島市、廿日市市、広島県バス協会、西日本旅客鉄道(株)、広島電鉄(株)、広島高速交通(株)、瀬戸内海汽船(株)、JR西日本宮島フェリー(株)、宮島松大汽船(株)、広島観光開発(株)
 (以下オブザーバ)広島県、中国運輸局

事業の概要(20年度)

○広島市・廿日市市交通系共通ICカード整備事業(総事業費1,088百万円)

広島電鉄(電車)市内線及びアストラムラインに先行導入しているバスと共通のICカードシステムを整備(広島電鉄市内線は平成21年3月1日、アストラムラインは平成21年8月8日サービス開始)



項目	概要
名称	PASPY (パスピー) ※PASS(乗車券)+HAPPY(幸せ) SPEEDY(速い)
発売カード	前払い式ICカード
カード規格	サイバネ規格(日本鉄道サイバネティクス協議会で規定された規格)
発売額	初期発売額 2,000円 [うちデポジット(預かり保証金)500円、SF(利用可能額)1,500円] SFは最大20,000円まで積み増し可能
利用可能範囲	広島県内の公共交通機関(電車・アストラムライン・バス・船舶・宮島ロープウェー)共通
乗車券機能	PASPY割引(最大10%割引) 乗継割引(バス⇄バス、電車⇄バス) 定期券機能については平成20年度より導入

20年度
導入
への
プロセス

多数の関係者との粘り強い調整
バス13社、鉄道3社、船船 3社、
ロープウェイ1社、2自治体、20者超

限られた車内で車載器設置を工夫
磁気カードと並べても利用し易い設
置場所の綿密な検討

事前周知を重視
特徴や使い方周知のため、TV、
チラシ、体験イベント等にて広報

①PASPY
広島県内の主な交通機関の利用

〈ひろぎん〉
PASPY

② QUICPay・Visa Touch
少額決済分野(コンビニ等)で
簡単便利な非接触IC決済サービス

③ちゅーピーくらぶ会員証
美術館・飲食店等約4千店もの加盟店で割引等サービス

初年度
の効果

利便性の向上(PASPY)

利用者の6.5割が満足。導入拡大で、
更に満足度アップが見込まれる。

速達性の向上

最大約12秒の乗降時間短縮
＝運行時間の短縮＝早く到着

産廃処理減量

磁気カードの発行枚数減少により使
用済磁気カードも120kg/年減量

シームレスな広域公共交通体系

連携したJR西日本「ICOCA」利用者が1ヶ月
15千件にも

次年度
以降

道路と公共交通のバランスを考慮しつつ
軸足を公共交通へシフトしていく

商店街等加盟店や連携先拡大で更に利便性アップ
地元商店街での利用＝地元企業の活性化へ

LRT都市サミット開催 (平成21年10月30日、31日)
テーマ「地球環境にやさしい都市づくりを考える」
路面電車のLRT化を重要な課題として多くの人の参加と賛同
を得ていく

①ノーマイカーデー運動

毎月22日は、ひとりひとりが環境に優しい交通行動を一
自動車利用に対する市民・企業等の意識や習慣を変え
ていくことを呼びかけ

②パークアンドライド

民間駐車場活用や駐車場空き情報提供、交通渋滞の緩
和、環境配慮、公共交通機関の利用促進